

8. 独立行政法人 建築研究所講演会

「安全で安心して暮らせる社会実現のための建築研究開発の役割」

期 間：平成16年3月3日(水) 10時～17時
 会 場：東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町朝日ホール(有楽町マリオン11階)
 主 催：独立行政法人 建築研究所
 聴講者数：374名

プログラム

建築研究所の研究開発攻略	10:00-10:20	理 事 長	山内 泰之
木造建築物の再資源化・資源循環化技術の開発	10:20-10:50	材料研究グループ 上席研究員	中島 史郎
ヒートアイランド対策効果の定量化技術	10:50-11:20	環境研究グループ 上席研究員	足永 靖信
安全で安心して暮らせる社会の構築に向けて (第1部) 基調講演【安全・安心のための想像力】	11:20-12:00	東京工業大学大学院理工学研究科 教 授	青木 義次

昼 休 み 12:00-13:00

安全で安心して暮らせる社会の構築に向けて (第2部)	13:00-14:30		
損傷制御に向けた高靱性コンクリートの可能性		構造研究グループ 上席研究員	福山 洋
市街地火災の炎症メカニズム		防火研究グループ 上席研究員	林 吉彦
宮城県沖地震を対象とした戸建住宅の地震リスク・マネジメント		住宅・都市研究グループ 研究員	高橋 雄司
安全で安心して暮らせる社会の構築のための建築研究開発の役割 - パネルディスカッション -	14:30-15:50	東京工業大学大学院理工学研究科 教 授	青木 義次

休 憩 15:50-16:00

建築研究所懸賞論文「幸せを育む住まいと建もの」表彰式	16:00-16:20	国土交通大臣賞、住宅生産団体連合会会長賞、 建築研究所理事長賞、優秀賞	
講 評		東京工業大学大学院理工学研究科 教 授	青木 義次
特別講演 「幸せを育む住まいと建もの」	16:20-17:00	隈研吾建築都市設計事務所 主 催	隈 研吾

ポスターセッション

「幸せを育む住まいと建もの」受賞作品	研究総括監	坊垣 和明 他
「建築研究所における国際的な研究・協力活動について」	国際研究協力参事	成瀬 友宏
「宮城県北部連続地震による建築物被害について」	構造研究グループ 主任研究員	喜々津仁蜜
「台風 14、15 号による建築物等の強風被害について」	構造研究グループ 上席研究員	奥田 泰雄 他
「光触媒を利用した汚染防止形外装材料の評価」	材料研究グループ 上席研究員	本橋 健司
「十勝沖地震における大空間の天井落下について」	建築生産研究グループ 上席研究員	西山 功
「人体寸法や動作寸法の反映が可能なデジタル建築設計資料集の開発」	建築生産研究グループ 主任研究員	布田 健
「居住者アンケートにより把握された防犯意識の構造」	住宅・都市研究グループ主任研究員	小島 隆矢
「十勝沖地震における強震観測結果」	国際地震工学センター 主任研究員	鹿嶋 俊英
「最近発生した地震の CMT 解・断層面上の破壊伝搬」	国際地震工学センター 研究員	八木 勇治